

2016 年度 SGH 成果発表会兼第 21 回公開教育研究会報告

研究部 阿 部 真由美

SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定 3 年目である本年度は、学校全体で研究開発をすすめている 1 年次から 3 年次の課題研究のうち、「総合的な学習の時間」の 2 年次必修科目「持続可能な社会の探究 I」を中心とした取組について、広く成果を発信するため、SGH 成果発表会を兼ねる形で公開教育研究会を行った。

午前部では、「持続可能な社会の探究 I」の各講座において、1 年間課題研究に取り組んできた 2 年生の代表生徒が、その成果として作成した論文についてプレゼンテーションを行った。

午後部では、「持続可能な社会の探究 I」の各講座（次年度開講予定の 6 つの分科会）に分かれ、1 年間課題研究に取り組んできた 2 年生が、次年度当該講座に配属される 1 年生に対し、主に課題研究の方法についてガイダンスをするという目的でグループワークを行った。各分科会の取組の様子については、該当ページを参照されたい。

参加者からは、午前部の生徒によるプレゼンテーションについては「フィールドワークがしっかりと研究に生かされている。」「どのような過程で研究を進めてきたのかよくわかった。」「聞き手とコミュニケーションをとりながら発表を進めていく手法が身についている。いっどこで学んだのか知りたい。」「『国際協力とジェンダー』において『Action』にまで至ったのはとても意義がある。」といった感想、午後部の分科会については「2 年と 1 年の交流は経験・知識の引き継ぎ、インタビュー、表現の練習も兼ねており、どちらにとってもよい機会となっている。」「午前部（プレゼン）で見えてこなかった生徒の『プロセス』が見えてきたのはよかった。」「『テーマ設定』に探究の成否がかなり依存していることへの自覚が生徒に感じられて参考になった。」といった概ねよい評価を得た。

さらに研究協議においては、本校の SGH の取組の概要をご説明した後、質疑応答・協議を行った。参加者からは、フィールドワークには全員行くのかどうか、課題研究のテーマ設定は途中で変更可能なのかどうか、生徒が自主的に SNS を用いて探究の成果を発信する場合のルールづくりはどのようになっているか、などといった探究活動をさせるための運営面や具体的な生徒への指導に関わる部分についての質疑が多く出された。興味・関心の集中する事柄がよくわかり、本校の取組の紹介を通じてこういった点を共有できたことは大変有意義であった。

また、研究協議後に行った運営指導委員会においても、「Action」にまで至った「国際協力とジェンダー」の取組については大変高い評価を得た。一方で、生徒が作成した論文について、参考文献に挙がっているものは Web ページの割合が高く、書籍や論文等の信頼できる文献に十分当たれていないことが課題として指摘された。高等学校

時点で、探究活動に費やせる時間も限られ、知識も不十分な中で、「研究」にどの程度のクオリティを求めるのか、といった議論も交わされた。

また、かねてより SGH 運営指導委員会にて、附属中学との連携の可能性が指摘されており、今回の成果発表会の午前の部において附属中学の生徒の参加を呼びかけ、36 名の中学生が参加した。参加した附属中生からは「中学で取り組んでいる自主研究のイメージを持ったが、どのテーマもグローバルな社会を探究しているものばかりで、自分も来年から取り組んでいくのだと思うとワクワクした」「中学の CD (コミュニケーションデザイン) 科で思考ツールを様々使ったのでそれを生かしていけると思うと楽しみ」「私も普段からグローバルな社会に目を向けられる広い視野を持った人になりたい」といった感想が得られており、中学での学びを高校で発展させたり、有機的に結びつけたりしていくことに期待する様子がうかがえる。附属中学との連携のよい機会となった。

外部からの参加者は 48 名、保護者 (午前中のみ) 39 名であった。また、SGH 運営指導委員 5 名、お茶の水女子大学から管理機関として 4 名の教員が参加した。今回の研究会の概要を以下に記しておく。

2016 年度 SGH 成果発表会兼第 21 回公開教育研究会

1 日 時 2017 年 3 月 18 日 (土) 10:00 ~ 14:20

2 会 場 お茶の水女子大学講堂 および 附属高校校舎

3 時 程

9:30 ~ 受付 (講堂)

午前の部 (講堂)

10:00 ~ 10:10 開会式

10:10 ~ 11:50 2 年生「持続可能な社会の探究 I」(総合的な学習の時間)の
各講座代表生徒による成果発表

- | | |
|----------------|-------------|
| ① 経済発展と環境 | ② 生命・医療・衛生 |
| ③ 国際協力とジェンダー | ④ 国際関係と課題解決 |
| ⑤ 情報技術と創造力 | ⑥ 音楽のグローバル化 |
| ⑦ 言語に依存しない情報発信 | |

午後の部 (附属高校校舎)

12:50 ~ 14:20 「持続可能な社会の探究 I」の各講座に分かれての
1, 2 年生によるグループワーク

14:40 ~ 15:30 研究協議、閉会式

(15:40 ~ 16:30 運営指導委員会)